

2026年1月28日

株式会社ステラーグリーン

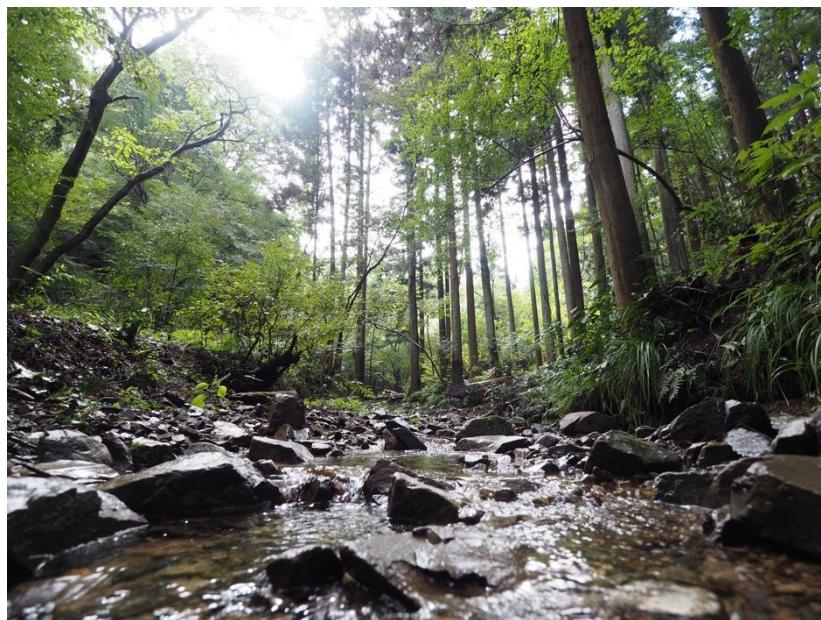
高尾 100 年の森プロジェクトにおける実証事業

ステラーグリーン、佐川急便、Water Scape が連携

～森林モニタリングに衛星データと AI 使用及び水源涵養の可視化～

森林カーボンクレジット創出の支援事業を展開する株式会社ステラーグリーン（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：中村 彰徳、以下「ステラーグリーン」）、SGホールディングスグループの佐川急便株式会社（本社：京都府京都市南区、代表取締役社長： 笹森 公彰、以下「佐川急便」）、サントリーグループの Water Scape 株式会社（本社：兵庫県芦屋市、代表取締役社長：川崎 雅俊、以下「Water Scape」）は、東京都八王子市に位置する「高尾 100 年の森」において、3 社共同で J-クレジットの創出及び水源涵養による J-クレジットの高付加価値化を目指した実証事業を実施します。

本実証事業は、東京都の「吸收・除去系カーボンクレジット創出促進事業」に採択されたもので、森の価値を見える化し、地域と都市がともに支える新しい循環経済のモデルを構築することを目的としています。



写真：高尾 100 年の森（提供：佐川急便）

日本の森林は小規模かつ分散的に所有されているため、現行制度ではコストや手続きの負担が大きく、継続的な管理が難しいという構造的課題を抱えています。本実証事業では、衛星データと AI を活用して森林の状態を高精度かつ低コストでモニタリングするとともに、森林が蓄える地下水や水循環の変化を定量的に可視化します。これらの取り組みは、木材生産の効率化ではなく、森林が本来持つ環境的価値（炭素・水・生態系）を経済の中で機能させる仕組みづくりを目的としています。

クレジット制度（J-クレジットなど）を活用しながらも、制度に依存せず、より最適な仕組みがあれば柔軟に適用できるモデルを目指します。

■実証事業の概要

1. 実施期間

2025年8月5日（火）～2026年12月31日（木）

2. 実施地

東京都八王子市「高尾100年の森」

3. 本実証の背景

日本の森林は、私たちの生活・文化・観光・建材など、さまざまな形で社会を支えてきました。しかし、木材価格の低迷や担い手不足、所有の分散化により、管理が行き届かない森林が増加しています。一方で、森林は二酸化炭素の吸収だけでなく、水源涵養や生物多様性保全など、多面的な機能を持つ重要な自然資本です。

ステラーグリーンは、こうした“見過ごされた価値”をデータとテクノロジーで可視化し、地域と都市がともに支える新しい森林経営モデルの構築を目指しています。

4. 実証事項

①衛星データの活用・AI補正によるモニタリング

従来の航空レーザー計測に代わり、衛星データとAI補正を組み合わせて森林成長を継続的に把握。これにより、J-クレジットなどに必要な吸収量評価を、より低コストかつ高頻度で実現する。

②森林管理による水源涵養効果の定量化及び将来予測ロジックの構築

森林が地下水に与える影響をデータとして可視化し、「森が水を生む」という機能を科学的に評価。これにより、カーボン吸収量に加えて、水源涵養などの多面的な環境価値を「付加価値」として位置づけ、クレジットの質的向上を図る。

現段階では、水や生物多様性といった要素を独立したクレジットとして定量的に評価することは難しいものの、カーボンに対してそれらの価値を上乗せ（プレミアム化）する設計は可能と考えています。本実証ではその仕組みを検証し、将来的には、水や生態系を評価対象とする新たなクレジットモデルの検討にもつなげていきます。

5. 各社の役割

①ステラーグリーン

- ・衛星データとAI補正によるモニタリング精度の実証
- ・J-クレジット制度対応のノウハウの提供

②佐川急便

- ・実証フィールドの提供
- ・森林管理

③Water Scape

- ・地下水の測定、分析、シミュレーション
- ・水源涵養に関するノウハウの提供

本実証事業は、「佐川急便」×「Water Scape」×「ステラーグリーン」という、森と水と人を繋ぐ3社の協働によって実現します。佐川急便は、自社で森林を保有・管理し、「高尾100年の森プロジェクト」を長年に渡り推進してきました。Water Scapeは、水源涵養や地下水モニタリングなど、水循環の定量化において高い専門性を有しています。ステラーグリーンは、特許取得済みの衛星データとAIを活用し、森林・水・生態系の価値を見える化して経済価値に変換するノウハウを持ちます。

森を支える人、水を支える人、それらを経済に橋渡しする仕組み。それぞれの専門性を活かし、「自然資本の都市モデル」を東京から発信します。

■ 「高尾100年の森プロジェクト」について

佐川急便が所有する高尾の森林約50ヘクタールを対象に、地域の方々の理解を得ながら、市民、大学、企業などの協働による里山管理という新たなスタイルによって「100年」という言葉に象徴される、ゆったりとしたタイムスケールで整備・保全を進める活動です。

2007年にプロジェクトがスタートして以来、森林管理、環境教育、生物多様性調査などを実施し、2020年には社会・環境機能の価値を総合的かつ客観的に評価する「緑の認定」SEGES（シージエス）制度にて、Excellent Stage 3に認定されています。

佐川急便 高尾100年の森プロジェクト：<https://www.sagawa-exp.co.jp/takao100pj/>

■ 「吸収・除去系カーボンクレジット創出促進事業」について

都の自然資源を活用した実証事業を通じて、農林水産分野における吸収・除去系カーボンクレジットの創出モデルを東京から作り出すことを目的とするものです。本事業は2か年事業として実施されます。

東京都 吸収・除去系カーボンクレジット創出事業：<https://www.removal-credit.metro.tokyo.lg.jp/>

■ 株式会社ステラーグリーンについて



STELLAR GREEN

ステラーグリーンは「自然の価値に、輝く道を。」を経営理念に、生物多様性を保全しつつ、最新のテクノロジーを活用して地域の自然資源を価値あるものに変換することで、持続可能な地域社会の構築を実現することを目指しています。

ステラーグリーンは森林カーボンクレジットの生成から販売まで、成功報酬型のワンストップサービスを提供しています。また、専門性が求められる森林データの収集や申請書作成にも対応しており、環境価値を経済価値に変えるプロセスを多角的にサポートします。

株式会社ステラーグリーン：<https://www.stellargreen.co.jp>

- プレスリリースに掲載されている会社名、サービス名などは各社の登録商標または商標です。
 - プレスリリースに掲載されている内容、サービス、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。
-